

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年9月17日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670104373
法人名	社会福祉法人 恵会
事業所名	グループホーム はっぴー
所在地	〒891-0144 鹿児島市下福元町9558番地27 (電話) 262-5505
自己評価作成日	平成26年7月14日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/46/index.php
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54番15号
訪問調査日	平成26年8月12日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ①ご入居様が個別的に朝・昼・夕の散策を日課としています。
- ②ご入居者様と職員と一緒に野菜や花を育てています。
- ③毎月ホーム便りを発行しご家族にホームでの様子を報告しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○鹿児島市の郊外の自然豊かな地域に特別養護老人ホームを始めとした関連施設と隣接して建てられている事業所であり、夏祭りを始めとした各種の行事の実施や緊急時の対応など、職員が相互に連携・協力できる体制が整っている。敷地はたいへん広く日光浴や散策に適した環境である。

○管理者や職員は利用者の思いや意見を積極的に把握するように努め、ご家族とは運営推進会議や来訪時に、話しやすい雰囲気づくりに努めて多くの意見を頂くとともに、家族アンケートも実施して、結果を全職員が共有してサービスの質向上に具体的に反映できるように努力を重ねている。改善結果等については運営推進会議での報告や毎月の「グループホーム連絡票」・「はっぴーだより」で連絡している。

○管理者は職員に対して日常的に話しやすい雰囲気作りに努め、日頃から職員と密にコミュニケーションを図っている。職員同士の連携も良好であり、日々の申し送りや毎月の処遇・スタッフ会議でもケアに関する意見交換は活発で、これらを検討して業務やサービス内容の改善に具体的につなげる仕組みが築かれている。

○常により良いケアを目指して研修体制の充実に取り組んでいる。法人全体での研修はもとより、グループホーム内でも年間計画に沿って研修が行われている。ホーム内の研修はテーマごとに担当職員が決められており、担当者は研修資料の準備から研修実施までの役割を担い、これらのしくみは個々の職員のレベルアップにも活かされている。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ．理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	地域密着の理念を盛り込み、目のつく場所に掲示し、日々の処遇の中で考えたり、スタッフ・処遇会議で職員間で共有している。	理念は掲示して共有を図り、年度や月次の目標も含めて日々のケアで振り返るとともに、毎月のスタッフ・処遇会議では理念に沿ったケアが実践できているかを確認している。職員はいつも笑顔で利用者に接するよう努め、寄り添う介護を大切にして支援に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣に民家が少なく、地域とのつながりは難しいが、近所の店等を利用したり、母体の特養やデイサービスの行事、夏祭りなどで交流の場を増やしている。	法人全体では「はっぴーファンクラブ」の活動を通じて地域と接している。法人の夏祭りや運動会を始めとした各種の行事に多くの地域の方々の参加も得ている。また、見学者や実習生の受入れ、法人の関連施設来訪を含むボランティアの受入れ、近隣の幼稚園の訪問、地域での買い物や外食など、可能な限り交流を図っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	法人全体では、はっぴーファンクラブの活動を通して地域の人々との関わりを持っている。見学の方を受け入れたり、入居申込み時、認知症の方への支援方法を説明し理解頂いている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ご家族様全員と地域包括、民生委員の方に開催案内し2ヶ月に1回開催し、各々の立場から意見・情報交換の場となり、サービス向上に取り組む様にしている。	会議は利用者やご家族、民生委員や地域包括支援センターの職員等関係者の参加を得て定期的に開催されている。利用者及びホームの現況報告や行事・課題等について意見交換が行われ、特に利用者の食事や健康面に関する意見や提案等を職員が共有して、具体的に日々のサービス向上に役立てている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	書類提出などでコミュニケーションを取っているが十分とは言えない。	地域包括支援センターの職員とは運営推進会議での意見交換を始めとして協力体制を築くように努めている。また、市担当者とは訪問や電話での、各種の手続きや利用者のニーズ等の相談に助言・対応頂くなどの連携を図り、サービスに反映できるように取り組んでいる。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束は行っていない。身体拘束について、ホーム内外の勉強会で意識を高めている。日々のケアの中にも拘束について意識しながら業務を行っており、個々の状態に合ったケア、見守りを行うようにしている。	言葉による拘束の排除を含む身体拘束については、法人全体やホーム内での勉強会、また日々のケアを通じて理解を深めている。居室や玄関の施錠は行わないケアに取り組み、利用者が外出しそうな様子を察知した場合は話をしながら付き添うようにしている。併設の法人施設も含めて、職員は連携して利用者の見守りに努め、利用者一人ひとりの状態に寄り添ったケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待についての勉強会を行ったり外部の研修会等に参加を行い職員間で注意しながら防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	外部研修に参加行いホームで勉強会を実施している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	ご利用者様、ご家族様が不安にならないよう契約・解約時には時間を十分取り、説明を行い理解、納得して頂き同意を得ている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議や面会時に意見や要望を気軽に言えるような雰囲気を作りを行ったり、家族へのアンケートを行い運営に反映させている。	利用者の思いや意見を日常会話や表情の見守りなどで把握に努め、ご家族とは運営推進会議や来訪時に積極的に話しかけて多くの意見を頂いている。また、家族アンケートも実施しており、ミーティングや毎月の処遇・スタッフ会議を通じて全職員が共有を図り、サービスに具体的に反映できるように取り組んでいる。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月の処遇・スタッフ会議で意見交換を行ったり、日頃のミーティング等でも、気軽に意見や提案出来る様にし反映させている。	管理者は、年2回の人事考課の際には、職員の自己評価を基に話し合いの場を設けている。また、日頃から話しやすい雰囲気づくりに努めて、日常のミーティングや毎月の処遇・スタッフ会議、必要に応じての個別面談で職員の意見や提案を聞き取り、業務改善やサービスの質の向上につなげるように努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	年2回人事考課を実施。自己評価をもとに、職員の意向や相談を受けながら向上心を持って仕事出来るよう働きかけている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外の研修会、勉強会に積極的に参加させている。毎月のスタッフ会議では、担当者を決めて勉強会を行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム研修にて、他グループホームの利用者処遇対応を知る事で自分達のケアを振り返り、問題意識を持ちながらサービス向上に努めている。各々のネットワークを利用して情報収集を行っている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者が自分の思いを率直に言えるような声かけ環境づくりを行い、本人のペースで生活出来るよう、焦らずに利用者との関わりを持ち信頼関係を築いている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ホーム見学時から入居までに居宅のケアマネを含め話し合いの場を設け、ご家族様が納得・安心されるよう傾聴し、信頼関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	デイサービス・ショートステイを利用しながら負担を軽減できる様にしている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者本人の気持ちを第一に考え喜びや悲しみを理解しながら寄り添い共に支え合う関係になれる様に努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者の様子や変化を随時家族に連絡・相談しながら利用者の為にとの思いを共通認識し、協力体制を常にとり家族との良い関係を築けるよう努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	デイサービス・ショートステイの利用者との交流を図ったり、ご家族、友人等との交流を持てるようにしている。電話の取り次ぎや、手紙の代筆も行い、交流が持てるように支援している。	併設の特養やデイサービスにも馴染みの方が多く交流を積極的に支援している。ご家族や友人・知人の来訪時にもゆっくりとくつろげるように可能な支援に取り組んでいる。また、電話や手紙の取り次ぎのほか、本人が希望する近隣の商店での買い物やドライブ、墓参りや一時的な帰宅などへの同行支援も行っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士が、一緒に生活する仲間として受け入れ支え合うような環境づくりに努めている。その時、その時の利用者の状態を把握して、他者との関わり方を工夫している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院に伴い退去されても、医療機関への訪問を行い、本人の状態を職員間で把握する様にしている。母体の特養やショートステイへ移動された時は、職員間で情報交換や連携図っている。利用者が不安にならないように関係を継続している		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者の希望や意向については、日常生活の中で聞き逃さないよう努めています。自分で思いを伝えられない事は簡単な質問や表情から察したりしています。	職員は日頃から声かけも積極的に行い、日常会話や様子観察から思いや希望をくみ取るように努めている。日々の申し送りや日誌・園内のメールで情報を共有して、必要な対応をミーティング等で話し合い、必要に応じてご家族とも意見交換しながら本人のペースでゆったりと暮らせるように支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者のアセスメント情報を収集して利用者本人を知る事からはじめ職員は利用者の生活歴等の把握にも努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者の生活、心身状態の変化の気づきを記録に残し出来る事、以前より出来ない事を職員が把握し支えて行ける様に努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ミーティング、処遇会議で意見を出し合い、利用者本人がより良く生活できるよう努めています。	介護計画は本人・家族から希望や意向を聞き主治医や看護師を含めた関係者・職員からの意見を反映した詳細なものを作成している。職員はケアの経過を個別の支援記録やパソコンの記録等で共有し、日常のミーティングや処遇・スタッフ会議等で話し合い、それらを基にして計画の修正や見直しを適切に行っている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別のケース記録を活用し、日々の体調の変化や生活状況を記入する事で情報の共有している。利用者の言葉や行動をそのままの言葉で具体的に記入している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者、家族の状況に応じて受診の送迎、付き添いなど必要な支援を行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティアの協力を得て、話し合い手、園外活動を行っている。消防訓練等を行っている。運営推進会議に参加して頂いている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者家族の希望する主治医となっている。変化に応じて主治医に随時相談指示を仰ぎ緊急時の連絡体制も整っている。	本人やご家族の希望を最優先してかかりつけ医の通院や往診による診療を適切に支援している。必要に応じて受診の際には情報提供書を医師に提示し、受診状況や医師からの指示は記録している。また、定期的に看護師による健康管理も行われ、ご家族への必要な連絡も確実に行っている。	

自己評価	外部評価	自己評価		外部評価	
		項 目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	定期的に看護師により健康管理がおこなわれ、異常の早期発見に努めている。利用者の体調に変化が生じたら速やかに管理者へ報告し、委託病院の看護師へ連絡を行い指示を受けるよう、体制が整っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者の主治医との情報交換は定期的に行う。入院した際は病状の確認を医療機関とこまめに情報確認している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	本人はまたは家族がホームでの看取りを希望された場合は、終末期ケアのあり方について説明を行い同意を得た上で受け入れている。	重度化や終末期のケアについては、「重度化した場合における対応の指針」を定め、本人やご家族に説明し同意を得ている。様々な変化の都度、繰り返しご家族や主治医と十分に話し合い、方針を共有して可能な限りの支援・対応ができる体制を築いている。ご家族が看取りを希望された場合は対応できるように職員に対しての勉強会も行っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時対応マニュアルをもとに各自把握した応急手当や連絡対応など、あわてずできるよう心がけている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	全部署合同で消防訓練を行い、消防署の立ち会いのもと、緊急通報訓練も行っている。訓練後の消防署の方からも指導を受けている。	スプリンクラーや自動通報装置等の設備は整備され、年2回消防署の協力を得ながら法人全体で避難訓練及び通報訓練を行っている。訓練後には消防署の指導も受けている。緊急時の連絡網や関連するマニュアルの整備もなされ、食料や飲料水・必要備品類の準備も法人全体で行われている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの利用者それぞれ個性に合わせて誇りやプライバシーを損なわない声かけを実施しています。	利用者の誇りやプライバシーを損ねないように、利用者一人ひとりに合わせた、話の内容や語調にも配慮した丁寧な声かけや対応を申し送りや勉強会で繰り返し確認して心がけている。また、関連するマニュアルの整備もなされ、個人記録の保管や居室の保護などにも十分な配慮がなされている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者の希望があれば、状況に応じて可能な限り希望にそうように努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員側の都合を優先するのではなく、利用者のペースに合わせてケアを行う様に努めています、		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	毎日、清潔保持のために普段着・寝間着に更衣しています。化粧やマニキュア等希望により行っています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	残存機能を活かしながら、利用者のペースで食事を楽しんでもらえる様にしています。栄養面を工夫して提供しています。	法人の管理栄養士の協力を得てバランスのよい食事・水分の確保に努めている。利用者の楽しみにつながるように、季節の行事食や敬老会・クリスマス会・誕生会等の特別食、弁当持参の外出、外食や出前など様々な工夫をしている。また、おやつの工夫や庭やテラスでのお茶会・食事会など和やかな雰囲気づくりにも取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食食事摂取量を記録に残しバランス良く食事・水分を確保できる様にしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	一人ひとり口腔状態に合わせて、毎食後口腔ケアを行う様にしています。歯科医に相談しながら行っています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンに合わせて、出来るだけトイレでの排泄が自力で行なえる様に支援しています。	排泄チェック表を活用しながら、個人の習慣や身体機能にも配慮した排泄支援を目標にして、昼間はトイレ誘導を基本にしている。個々に合わせた工夫をプランにも反映して、利用者の様子観察も細かく行うようにして、言葉かけを始めとして羞恥心や不安の軽減にも努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘予防のため水分量の調整や食物繊維を多く含む食事を提供するなどしています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴前に体調のチェックを行い希望に沿った入浴方法を行っている。また湯船は1人ずつ入れ替えている。利用者の希望に応じて職員の介助は女性が行っている。	利用者の体調や希望・安全面にも配慮して、冬場の入浴剤の活用など入浴を気持ちよく楽しめるように支援している。また、利用者の状態に応じて清拭やシャワー浴などへ切り替えている。入浴を拒否されるような場合には、言葉かけの工夫や職員・時間帯等の変更で気分転換を図っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	消灯、起床時間をその日の利用者の体調・睡眠状態に応じて検討したり、居室やソファで休むなど過ごして頂いている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の投与は必ず職員2人にて目視、読み上げ確認を行っている。また薬の内容や目的、副作用については勉強し、薬の変更があった時は必ず申し送りで職員が周知している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者の好きな事、興味を理解して、日常生活に活かせる様になっています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	利用者の体調、意向を聞きながらホーム周辺を職員と話しながら散策を行っている。	敷地は広く自由に散策できる環境で、天候によりテラスや芝生の上で日光浴やお茶・食事が楽しめる。利用者の体調や安全に十分に配慮しながら、買い物やドライブ・墓参り・一時的な帰宅などを支援している。また、法人の関連施設での交流や幼稚園の訪問、初詣や季節の花見、外食など、時にはご家族の協力を仰ぎながら可能な限り多くの支援を行い、楽しく外出できるよう工夫している。利用者の能力に沿って、リフト車や車イス等を適切に活用している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	認知症進行と共に、お金の管理は難しく職員が管理しているが、買い物など行かれた際は、利用者の理解力・能力に応じて支払いをしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	手紙の代筆や自分で書かれた手紙の発送、電話をかける際は職員に声をかけて頂きいつでも電話出来る様にしている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	それぞれの季節の花を食堂、玄関などに飾り、通路や各自居室には写真を貼るなど温かい空間になるよう努めている。	リビングや廊下などの共用空間は広々と開放的で、季節の花や作品の貼り絵・行事の写真などが飾られ、季節を感じながら過ごせるように工夫されている。畳のスペースや大きめのソファも配置され、広いテラスとともに会話やお茶などをゆっくり楽しめる環境である。敷地は広く、建物の周囲には菜園や花壇がありイスやベンチも置かれ、気軽に外気浴が楽しめるように配慮されている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	廊下、食堂には長椅子やソファを設置し、利用者同士が1人でもくつろげる様になっている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者の好きなものを聞き、明るく清潔な居室になる様にしている。	居室はホームが準備したもの他に、本人や家族の希望に沿って、使い慣れた家具や身の回りのもの・テレビ・写真等を自由に持ち込んで頂いている。明るく清潔な居室となることはもとより、日常生活等についてのご家族からの希望にも可能な限り柔軟に対応するように努めている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者と一緒に作業しやすいようまた車椅子でも自由に往来できるように広い廊下になっている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	ミーティングや申し送り、利用者との関わりの振り返りの時などに理念に触れ、日々のサービス理念に反映させております。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近所の幼稚園への訪問や、地域の店へ買い物、外食を行って地域とのお付き合いを行っています。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	法人全体で、はっぴーファンクラブの活動に参加して、話し合いを設けて行事等への参加を行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回運営推進会議を実施し、利用者、ご家族、長寿安心センター職員、地域の民生委員が参加し意見・交流を行っている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議に長寿安心センター職員、民生委員の方に参加して頂き、制度改正に伴う疑問点など積極的に確認して協力を得てサービス向上に努めている。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	職員は身体拘束について理解しており、身体拘束をしないケアをしている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体拘束や虐待についての勉強会を行い、随時、症例を通して職員への指導、教育を行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見制度を利用するにあたっての手順や家族への説明方法を研修会で指導して頂きながら話を進めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時は、利用者、家族が安心して利用できるよう説明し、納得されたうえで契約していただいている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族が来園された時は、積極的に話しかけ、意見を言いやすい雰囲気を作っている。運営推進会議では意見交換の場を設け、活発な発言がある。議事録を通してスタッフへ周知、玄関にも置き閲覧できる様にしている。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	管理者は定期的にミーティングを行ったり常に職員の意見を聞き入れ反映させている、また、会議の時にも職員同士で意見交換を行っている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	年2回、自己評価、人事考課を実施、個人面談にて意見や相談を受けながら向上心を持って働ける様にしている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員が受けることの出来る研修を提供し、働きながら参加出来る様にしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他グループホームとの懇親会や研修にて他事業所の状況を知る事で自分達の利用者に対してのサービスを振り返り、改善する事、問題意識を持ちながらサービスの向上に努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人と直接お話をし、気持ちに寄り添い傾聴している。安心できるように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービス利用開始時から家族の話を傾聴し信頼関係を築けるよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人・家族のニーズに応え、支援できるよう計画を立て実行していくように努める。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員と共に過ごし、安心して生活できるような関係を築いている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会、担当者会議で家族と良く話をして生活歴等を聞き、本人・家族の思いをくみ取る様にしている。希望者には定期的な面談も行っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人の昔馴染みの方が面会に来られた時などはゆっくり一緒に過ごせる様にしている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係性を把握し、孤立させず寂しさを感じさせないようにしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	同じ敷地に特養やショートステイがあり、サービス利用が終了になりご利用される方が多い。会いに行き、本人・家族と話をして介護職員やケアマネに伝えたりしている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の意向や暮らし方の希望を聞き、困難な場合は本人の気持ちに寄り添い把握、検討をしている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人の今までの暮らし方などで本人や家族に聞き把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	1人1人の生活状態を把握し、職員同士で情報を共有している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	普段の生活の中で、利用者に聞き取りを行ったり、家族にも積極的に聞き取りを行っている。職員からは毎日の申し送りや処遇会議、普段の気づき等の意見・情報も含め介護計画を作成している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の記録はちょうじゅを活用し、職員間で申し送りや連絡ノートで気づき、工夫などの情報を共有し、今後のケアや介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者と家族の状況に応じて通院送迎、薬の受領、買い物など支援を行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	利用者の意向に応じてボランティアによるタッチセラピー、ネイル、メイクブロー、舞踊、音楽鑑賞などの協力を頂いている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者本人、家族の希望をうかがっている。かかりつけ医があった場合、継続して受診、往診している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護職員は利用者の気づきなど他事業所の看護師に相談し適切な受診、看護が受けられる様になっている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者が入院した際には病院、家族と情報交換、相談し早期退院に努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	利用者、家族と終末期における意向を出来るだけ早いうちに出して頂きホーム、医療機関と共に方針を共有している。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	利用者の急変、事故時の対応が適切に落ち着いて迅速に出来る様、研修を受けている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	法人全体で消防署の指導の元、消防訓練を行い消化活動、避難誘導、緊急通報の訓練を行っている。他部所との応援体制もとれている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者の尊厳を大切にし、プライドを傷つけない声かけ対応を行っている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者本人の思いや意向を普段の生活の中から聞き出し、出来るだけ希望に沿って暮らす事が出来る様努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員の都合に合わせず利用者1人1人のペースに合わせて毎日をその人らしく過ごせる様に支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	衣類は出来るだけ本人に選んで頂き、髪形やおしゃれ面については職員が関わり、身だしなみには気を配っている。訪問美容室も利用している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者が食事を楽しめるように好みを把握し提供している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者一人ひとりの食べる量を把握し、栄養バランスを考え、水分量を十分に確保できるよう支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを行い、口腔内を清潔に保つように努めている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	利用者一人ひとりの排泄回数など記録し職員同士で排泄パターンを把握し失敗のないようトイレでの排泄を促している。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食物繊維のある物やオリゴ糖、さつまいもパウダーなど活用し、排便のない時は個々に合った便秘薬を使用し便秘の予防に努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	一人一人の希望やタイミングに合わせて入浴を行っている。利用者のその日の気分が入ったり、体調の良い日や気分の良い日に入っている。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人が安心して休めるような環境を提供している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員は身体拘束について理解しており、身体拘束をしないケアをしている。利用者の薬の内容、時間を理解し投薬の際は必ず、職員2人で呼名呼称し確認し確実に投与している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者の得意な事、趣味、出来る事を見い出し、他利用者、職員と一緒にしている。個別に買い物、外食、ドライブに出かけ気分転換を図っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	利用者の体調を把握した上で、外出場所や内容、ドライブ等出来るだけ外出できる様に心がけている。散策は日課となっている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者本人がお金を持つことの大切さを職員は理解し、利用者の能力に応じて、支払い等の支援が出来る様に努めている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	本人に電話が来た時は取りつなぎ、手紙が来た時にはやり取りが出来る様にしている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間には利用者が混乱、不快にならないような環境にし、季節折々の物を取り入れて工夫している。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファやカウンター廊下ベンチ濡れ縁で、ひとりで読書や新聞を読んだり、日なたぼっこをしたり気の合った利用者同士でお茶や会話を楽しんでいる。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室内は本人、家族と相談し、これまで使ってきたものや、好みの物を置き、居心地良く過ごせるようにしている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下の手すりは2段階手すりです。歩行の方も車椅子の方も、利用できる様になっている。手すりを使用し車椅子からの立ち上がり訓練にも活用している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない